

2022年12月21日(水)13時～
荻窪地域区民センター協議会 第1・2集会室

2022(令和4)年度12月委員会

1. 報告

1. 会長：会長会(12/9)、協議会活動検討会(12/13)について
2. 総務部：令和5年度部長選出状況、第24期委員募集、地域懇談会(R5 2/5)、令和5年度総会の予定(R5 4/25)について
3. 地域交流部：本天沼集会所まつり(R5 2/26)、地域交流部七館連絡会(12/6)について
4. 事業企画部：アンケート(荻窪寄席、ワイン講座、木の実工作教室)について
5. 広報部：わたしのおぎくぼ、ホームページについて
6. 道の愛称p：
7. 荻窪の記憶p：パネル展(荻窪の記憶V)について
8. 事務局：周年事業パネル展示(12/6～12)、センター改修意見交換会について
9. その他：

2. 協議

1. (会長)
2. (総務) 令和5年度各部長選定結果と副会長決定について、活動費について
3. (地交)
4. (事企)
5. (広報)
6. (事務局)

3. 事務局から

4. その他

- 配布資料
1. 2022(R4)1月、2023(R5)2月予定表
 2. (会長)12月役員会記録
 3. (会長)会長会について、協議会活動検討会(第4回)について
 4. (総務)地域懇談会について
 5. (総務)第24期委員募集ポスター
 6. (総務)活動費について
 7. (地交)本天沼集会所まつりについて
 8. (地交)地域交流部七館連絡会議事録
 8. (事企)アンケート(荻窪寄席、ワイン講座、木の実工作教室)について
 9. (事企)荻窪の記憶V パネル展チラシ、展示配置
 10. (広報)わたしのおぎくぼNo.361(2月3月号)レイアウト
 11. (広報)活動報告書レイアウト
 12. (広報)広報部七館連絡会報告書
 13. (事務局)センター改修意見交換会について

2023年1月予定

資料 1

		午前	昼休み	午後
1	日	(休館日)		
2	月	(休館日)		
3	火	(休館日)		
4	水			
5	木			
6	金			
7	土			
8	日			
9	月	(休館日) (成人の日)		
10	火	部会休み		
11	水			
12	木	<事業企画部>弘中 自然探訪③ 善福寺池の四季 講師：星野義延・順子 集合：善福寺池上の池ボート乗り場		
13	金			
14	土			
15	日			
16	月			
17	火	部会10:00～ 第1・2集会 ◎「区広報紙」3/15号原稿事務局へ切 <総務部>大矢 地域懇実行委員会 11:30～ 第1集会室		<事業企画部>恵羅 荻窪の記憶V パネル展片付け
18	水			
19	木			
20	金	(館内整理日)		
21	土			
22	日			
23	月	(休館日)		
24	火	部会10:00～ 第1・2集会室 ◎「区広報紙」2/15号校正日 <総務部>茂木 協議会活動検討会 11:30～ 第1集会室		<総務部>杉原・大矢 地域懇談会リハーサル 13:00～ 第1・2・6集会室 <総務部>大矢・船津 役員会 14:30～ 打合せ室
25	水			
26	木			
27	金			
28	土			
29	日			
30	月			
31	火	部会14:30～ 第1・2集会室 広報紙「わたしのおぎくぼ」No.361 2月3月号発行配布		センター改修意見交換会 13:00～ 第1・2集会室 <総務部>大矢・船津 委員会 14:30～ 第1・2集会室
		午前	昼休み	午後

2023年2月予定

		午前	昼休み	午後
1	水			
2	木			<事業企画部>堀川 二期会マジック歌手ひらやすかつ こが歌う、日本の歌と世界の歌 講師：ひらやすかつこ 14:00~15:30 第1・2集会室
3	金	会長会 10:00~12:00 本庁		
4	土			
5	日	<総務部>杉原・大矢 地域懇談会準備 10:00~12:00 第1・2・3・4・5・6集会室		<総務部>杉原・大矢 地域懇談会 14:00~16:00 第1・2・3・4・5・6集会室
6	月			
7	火	部会10:00~ 第1・2集会		
		<地域交流部>萬 本天沼集会所まつり実行員会 11:00-12:00		
8	水			
9	木			
10	金			
11	土			
12	日			
13	月	(休館日)		
14	火	部会10:00~ 第1・2集会 ◎「区広報紙」4/15号原稿事務局へ切		
15	水			
16	木			
17	金			
18	土			
19	日			
20	月	(館内整理日) ◎「区広報紙」3/15号校正日		
21	火	部会10:00~ 第1・2集会		<総務部>大矢・船津 役員会 13:00~ 打合せ室
		<地域交流部>萬 本天沼集会所まつりオリエンテーション 11:00-12:00		
22	水			
23	木			
24	金			
25	土			<地域交流部>萬 本天沼集会所まつり準備 13:00-16:00
26	日	<地域交流部>萬 本天沼集会所まつり 10:00-15:00		
27	月	(休館日)		
28	火	部会10:00~ 第1・2集会室		センター改修意見交換会 13:00~ 第1・2集会室
				<総務部>大矢・船津 委員会 14:30~ 第1・2集会室
29	水			
30	木			
31	金			
32	土			
		午前	昼休み	午後

日時：2022年12月13日（火）13時～15時

場所：打合わせ室

出席者：茂木会長（記録）、萬副会長・地域交流部長、惠羅副会長・事業企画部長、横尾
広報部長、船津総務副部長；桑山会計監事；吉川事務局長、岩井事務局員、鈴木
事務局員

1. 報告

- (1) 会長：協議会活動検討会(12/13)、会長会（12/9）について口頭で報告。活動検討会では中期的な協議会の目標を問うた。冬休みに報告素案を作成（会長）、レビューを受けることを予定、会長会では①コロナ禍の下での各センター協議会のイベント実施状況報告、②委員募集の仕方、工夫の状況報告、③SNS、ホームページの活用状況報告など。会長会事務局より協議会会則について微調整はしてきているが、ベースを作成後時間が経っているので、再検討（委員の任期の一般原則など）の時期かもしれないとの建議があった。
- (2) 総務部：令和5年度部長選出結果（総務部：杉原さん、地域交流部：杉浦さん、事業企画部：熊谷さん、広報部：西村さん）、第24期委員募集、チラシ配布現況報告、地域懇談会（R5 2/5）予定案を検討、令和5年度総会の予定（R5 4/25）、リハーサル（4/18）について報告。
- (3) 地域交流部：本天沼集会所まつり（R5 2/26）、地域交流部七館連絡会（12/6）について（以下、各部、資料に基づき説明）
- (4) 事業企画部：荻窪寄席（12/11）、アンケート（ワイン講座、木の実工作教室）について
- (5) 広報部：わたしのおぎくぼ、ホームページについて
- (6) 道の愛称 p：
- (7) 荻窪の記憶 p：パネル展（荻窪の記憶V）について
- (8) 事務局：周年事業パネル展示（12/6～12）、センター改修意見交換会（区より説明、予定 1/31 および 2/28）について
- (9) その他：

2. 協議

- (1) (会長)
- (2) (総務) 活動費について各部から12月～3月の予定を出していただいたが、単価1,000円ベースでは余剰がでるなど調整部分が残ри、今回の活動量調整の趣旨を再確認し、週末まで待つこととした。
- (3) (地交)
- (4) (事企)
- (5) (広報)

(6) (事務局)

3. 事務局から

4. その他

- 配布資料
1. 2022 (R4) 1月、2023 (R5) 2月予定表
 2. (総務) 活動費について
 3. (総務) 地域懇談会について
 4. (地交) 本天沼集会所まつりについて
 5. (地交) 地域交流部七館連絡会議事録
 6. (事企) アンケート (ワイン講座、木の実工作教室) について
 7. (事企) 荻窪の記憶V パネル展チラシ
 8. (広報) 協議会の行事・イベント・講座等の広報部担当一覧表
 9. (広報) ホームページ
 10. (広報) わたしのおぎくぼ No.361 (2月3月号) レイアウト
 11. (事務局) センター改修意見交換会について

令和 4 年 12 月 9 日
阿佐谷地域区民センター
第 4 ・ 5 集 会 室

地域区民センター協議会会長会次第

1 開 会

阿佐谷地域区民センター協議会総務部長 高橋 明夫

2 会長挨拶

阿佐谷地域区民センター協議会会長 榎本 正晴

3 区民生活部地域課長挨拶

杉並区区民生活部地域課長 細谷 裕史

4 出席者自己紹介

5 議 題

(1) コロナ禍の各センター協議会のイベント等実施状況について

(2) 委員募集の仕方について (各協議会の工夫など)

(3) SNS やホームページの活用について

(4) その他

6 閉会の挨拶

阿佐谷地域区民センター協議会事務局長 高沢 正則

次回会長会(新年度予算関連)

【日時】 令和 5 年 2 月 3 日 (金) 午前 10 時から

【場所】 区役所 西棟 6 階 5・6 会議室

【配布資料一覧】

- ・ 地域区民センター協議会会長会次第
- ・ 令和 4 年度地域区民センター協議会会長会 席次表
- ・ 地域区民センター協議会会長会 出席者名簿

第4回協議会活動検討会(討議内容メモ)

2022.12.23

(文責：茂木)

第4回検討会、11月13日(火)、午前11時半より(第2集会室)

(1) 当日参加者：茂木、萬、横尾、杉原、船津、杉浦、小野、上田、

香取、熊谷、西村 (順不同、敬称略)

オブザーバー：事務局吉川、岩井

(2) テーマ：「これからの協議会ビジョン」

(3) テーマについて

改修時期に向けて当面の問題について、ポイントはだいたい出尽くしました。1/31の区からの説明会を挟んであるいはそれに向けて我々の関心、提案を用意したいと思います。本日はもう少し中期的な協議会ビジョンを考えたい。

これまでも大きなテーマは、区ベースでの提案の受け留め、会則の既往記載や総会での年度方針などにちりばめられてきました。

今年度総会での活動方針をみると、「地域における『ふれあいと交流』を増進させ、さらに地域課題を解決するため地域で活動する様々な活動団体のネットワーク化を図り、地域の活性化につなげる。」としてきました。

問いかけとしては、これでよいのか、新しい視点で見直す必要はないかです。

(4) でてきた議論

① 意識の高いひとたちがいろいろな活動を始めている実態はあるし、それはそれでよい。ネットワーク化というとそういう団体を対象にすることなどが目的になりがちである。60万区民でそういう活動に参加しないような人たちがいる。その人たちに目を向けた活動があるのではないか。

② 地域部の活動を回顧すると、i ネットワーク化では荻窪高校との連携を実現した。ii 地域課題との関係では、区内の生産緑地の維持につながる野菜販売の機会をJAととった。iii 協議会活動では年配者の参加が多いが、若いファミリー層をターゲットにハロウィン対応を企画、多くの参加を得た。iv 7館会議に出ると「まつり」への期待が非常に多い地域、商店会との連携、PTAとの連携を進めているところもあり、それぞれである。7協議会の活動は地域性を見定めたものでないといけないと感じた。

(5) 以上の議論、これまでの検討会の議論を踏まえ、素案を冬休みに作成することを予定。

令和4年12月吉日

関係各位

令和4年度 地域懇談会 開催のご案内

荻窪地域区民センター協議会
会長 茂木 愛一郎

平素より、当センター協議会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、今年度の「地域懇談会」を下記のとおり開催いたします。
ご多忙のところ恐縮ですが、是非共御出席頂きますようお願い申し上げます。

記

日時 令和5年2月5日(日) 14:00~16:30

場所 荻窪区民センター 第1・2及び第4・5集会室

テーマ より親しみやすく、良好なコミュニティ形成に向けた地域区民センター協議会活動に向けて

(1) 講演 14:00~15:20

(i) 区民の思いを形につなげた地域活動実際例について

講師 稲葉 文子(あやこ)氏

子育てきずなサロン ぐーちょきぱあ 代表

講師 秋山 成子(ふさこ)氏

まちナカ・コミュニティ西荻みなみ 理事

コーディネーター

社会福祉法人杉並区社会福祉協議会地域支援課 課長 中島 篤 氏

(ii) 荻窪地域区民センター協議会の活動実績について(協議会より報告)

(2) 荻窪地域区民センター協議会の活動の深化に向けて 15:30~16:30

(i) グループディスカッション

「活動範囲・内容など」 「ふれあいを深めるには」

(ii) ディスカッションの報告と質疑

◇ご案内先

町会・自治会、商店会、青少年育成委員会、民生児童委員会、学校関係、
地域包括ケアセンター(ケア24)、ゆうゆう館、NPO法人、任意団体、
など各種地域団体

*同封の用紙に出席者の氏名などをご記入の上、1月16日(月)までに郵便、FAX、メールにてご出欠のご連絡をお願いします。(宛先 下記)

荻窪地域区民センター協議会事務局宛

〒167-0051 杉並区荻窪 2-34-20

電話 : 03-3398-9127 FAX : 03-3398-9128

メール : ogikubo-unkyo@fancy.ocn.ne.jp

以 上

FAX : 03-3398-9128 事務局あて

地域懇談会 出欠票

1. 地域懇談会の出欠 出席 ・ 欠席
※どちらかに○を付けてください。

2. 団体名 : _____

代表者名 : _____

住所 : _____

電話 : _____ 携帯電話 : _____

3. 参加者名

氏 名	
氏 名	

お手数ですが上記の項目にご記入いただき、1月16日(月)までに郵送、FAX、メールにてご出欠の返信をお願いします。

荻窪地域区民センター協議会

住所 : 〒167-0051 杉並区荻窪 2-34-20

電話 : 03-3398-9127

FAX : 03-3398-9128

メール : ogikubo-unkyo@fancy.ocn.ne.jp

令和4年度 委員活動費執行状況表

年間予算額	¥3,871,500
-------	------------

月	当月執行額	執行累計額	予算残額	執行率
4月	¥297,000	¥297,000	¥3,574,500	7.67%
5月	¥367,500	¥664,500	¥3,207,000	17.16%
6月	¥436,500	¥1,101,000	¥2,770,500	28.44%
7月	¥369,000	¥1,470,000	¥2,401,500	37.97%
8月	¥298,500	¥1,768,500	¥2,103,000	45.68%
9月	¥495,000	¥2,263,500	¥1,608,000	58.47%
10月	¥504,000	¥2,767,500	¥1,104,000	71.48%
11月	¥235,000	¥3,002,500	¥869,000	77.55%
12月		¥3,002,500	¥869,000	77.55%
1月		¥3,002,500	¥869,000	77.55%
2月		¥3,002,500	¥869,000	77.55%
3月		¥3,002,500	¥869,000	77.55%

【12月～3月見込み】

総務部	¥518,000
地域交流部	¥150,000
事業企画部	¥77,000
広報部	¥94,000
	¥839,000

内訳

総務部	部会・役員会・委員会・会長会	¥344,000
	記録・議事録作成	¥11,000
	地域懇談会	¥78,000
	総会資料作成	¥25,000
	予備	¥60,000
	計	¥518,000

地域交流部	七館連絡会・西田小あそび市	¥6,000
	本天沼集会所まつり関連	¥129,000
	次年度計画策定・議事録・予備	¥15,000
	計	¥150,000

事業企画部	講座・講演	¥33,000
	次年度計画策定・議事録・予備	¥16,000
	荻窪の記憶	¥28,000
	計	¥77,000

広報部	わたしのおぎくぼ	¥27,000
	ホームページ	¥13,000
	活動報告書(隔年)	¥32,000
	荻窪の記憶(冊子)	¥14,000
	予備	¥8,000
	計	¥94,000

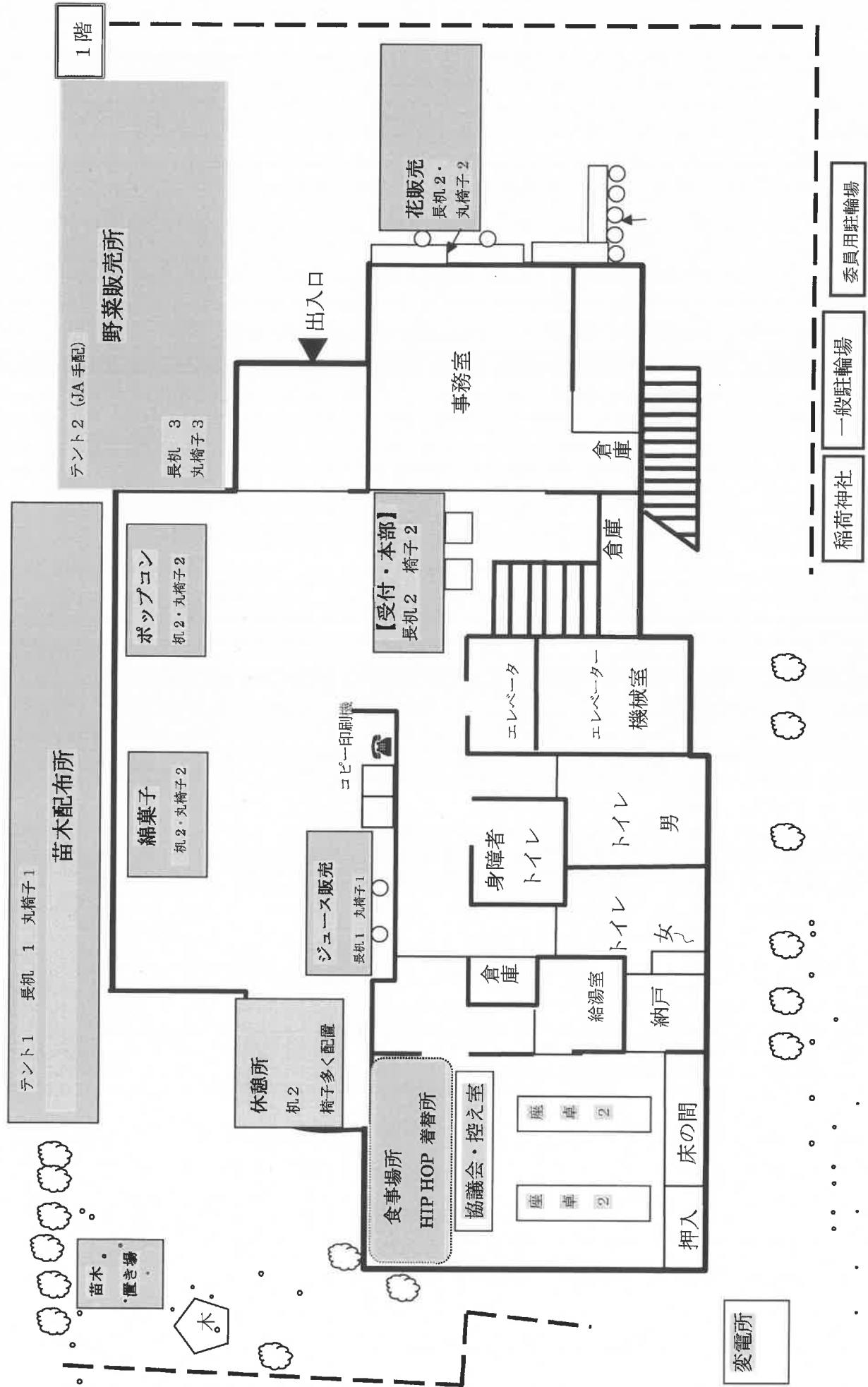
ご多忙の折とは存じますが、4年度最後の大型で
本天沼最後の祭りです。応援よろしくお願ひします

本天沼集会所まつり応援出欠確認表 (○・×) 12/21				
部門	氏名	2月25日(土) 準備	2月26日(日) 本番	
		集合13:00~15:30	9:00~12:00	13:00~17:00
会長	茂木	○	○	○
総務部	大矢	○	○	○
	船津	○	○	○
	杉原	○	○	○
	伊藤			
監事	伊藤			
	桑山	○	×	×
地交部	萬	○	○	○
	影山	○	○	○
	杉浦	○	○	○
	上田	○	○	○
	小野	○	○	○
	伊藤			
事業企画	惠羅	○	○	○
	染谷	×	○	○
	本田	○	○	○
	熊谷	○	○	○
	堀川	×	×	×
	香取	×	×	×
	菊野	×	○	○
	弘中	未定	×	未定
	伊藤			
広報	横尾	○	○	○
	松崎	○	○	○
	西村	○	○	○
	伊藤	×	×	×
	計			

* 2月25日：本番の日午前午後通し応援の方は弁当用意します

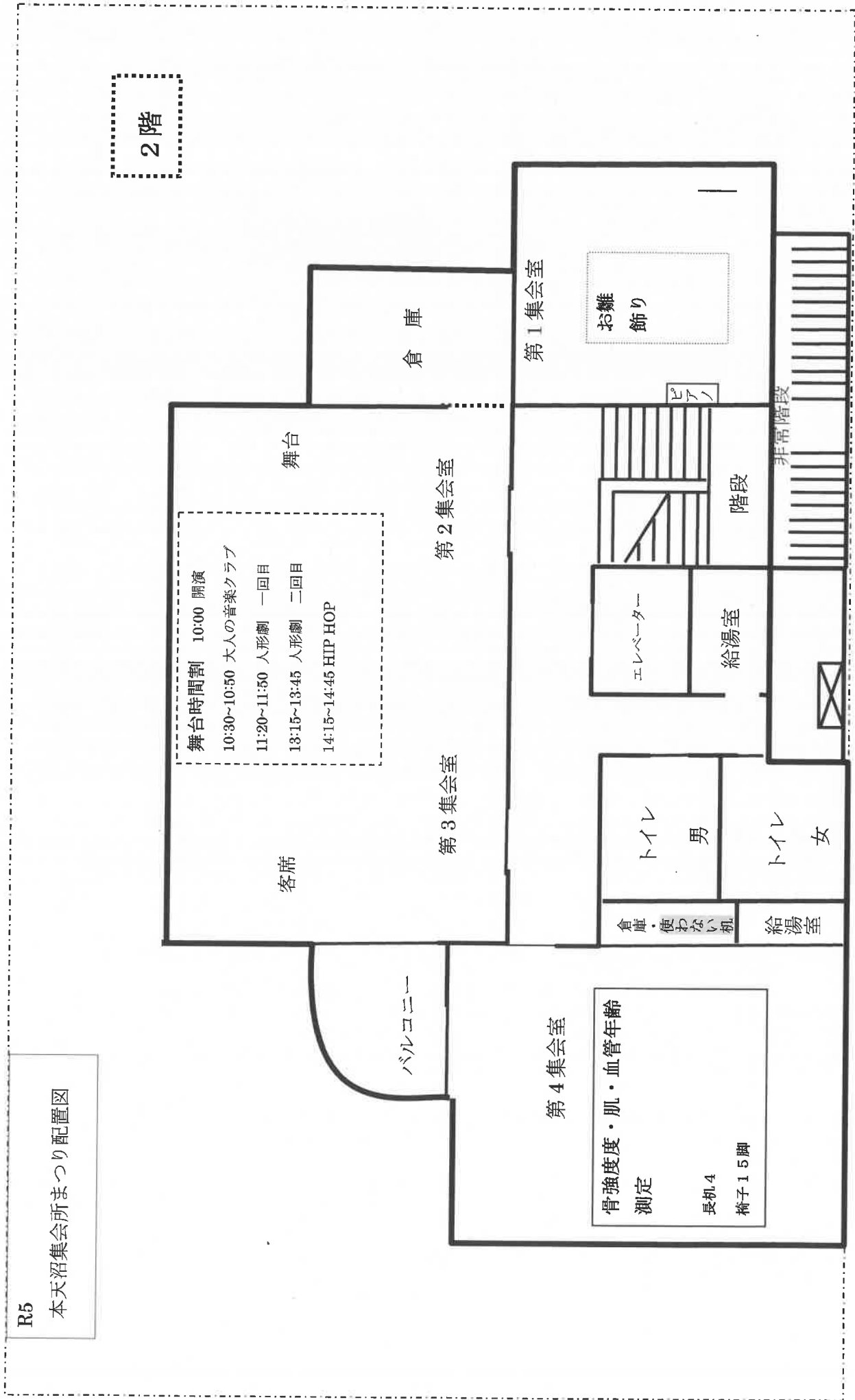
* 片付け終了後、16:00～長期間控えていた小宴を催します

R5 本天沼集会所まわり配置図



R5

本天沼集会所まつり配置図



1. 時間：13:00～15:00
2. 場所：西荻地域区民センター 3階
荻窪出席者：萬部長、影山、杉浦の3名。
3. 議事概要：
 - 1) 西荻側の司会で事務局長の挨拶後、会議開始し、先ず各協議会出席者の自己紹介を行った。
高井戸は同日・同時間にイベントがあり、事前に報告書提出で欠席。
 - 2) 議事は事前提出した各協議会毎の今年度の事業実態の説明から始まり、①イベント再開後の失敗・成功例、②問題点・課題発表、③議論、と進行した。各協議会の特記は下記の通り。
 - (1) 高円寺：セッションの改修工事が遅れ、来年9月まで使用不可で、集会所・児童館で開催。
外での開催も雨天で屋内に移動したが、蜜になった。
イベント集客を増やす工夫として、チラシ以外のSNS活用も検討。
 - (2) 永福和泉：方南集会所が工事開始で使用出来ず。下高祭りは外で開催し、飲食禁止。
コロナで3年間はセンター祭が中止で、下高祭りは大盛況で900人が参加。
外での整理券を配布したが効果が少なく、密集に注意した。
(協議委員：32名)
 - (3) 井草：今年9月10,11日と1日目には展示とゲーム、2日目は芸能と分けて、センター祭を2年ぶりに開催。来場者2日間で約4,000名。
整理券方法を取ったが、いろいろ問題があり、配布方法の検討が必要。
 - (4) 阿佐ヶ谷：イベント開催の為に、委員はPCR検査を受診し陰性確認。夏祭りはマスク着用で且つ看護師1名を配置した。入場制限はWEBを活用。子供フェスティバルは約3,500人、夏祭り盆おどりは約4,000名が参加。
来年は主体を子供からオジサンや外国人に変更すべく検討中。
(協議委員：26名、)
 - (5) 西荻：イベントの受付済の人にはリストバンドを着用させ、時間制の場合は色で区別。
地域の懇談会をきっかけに、活動団体のオープンサロン事業を立ち上げ。
協議会のPRビデオを作成したので、今後他協議会と共同取り組みをしたい。
又、来年3月5日開催の西荻センター祭で七館に協力してもらいたい。
(協議委員：20名)
 - 3) 課題は下記の通り。
 - (1) SNS、FBの活用方法：七館の広報部会議で検討してもらいたい。
 - (2) 改修工事中の協議会活動：杉並会館などでの部会・委員会開催。小学校などでの出張活動サービス。改修中は委員の要員数を減少。再開時の引継ぎ問題。(西荻)
綿菓子、ポップコーン器材の使用練習など
 - (3) 協議委員の人数：不足対応は？(阿佐ヶ谷・高円寺)
明治大学ボランティア活動(永福和泉)

以上。

特記事項

* 西荻来年3月5日センター祭りでの7館へのお願い事項：広報を通じ事務局長に依頼

アンケート集計結果

資料 8

荻窪寄席 (2022年12月11日、日曜日)

1. 性別 男性 9名 女性 21名 (中途失聴・難聴者の会 9名)
2. 年齢 20代 30代 40代 50代 60代 70代 80代以上
1名 7名 4名 11名 7名
3. 荻窪寄席を何でお知りになりましたか (該当するもの全て)
 - ① 区報「すぎなみ」17名
 - ② わたしのおぎくぼ 4名
 - ③ ポスター 1名
 - ④ ホームページ 0名
 - ⑤ チラシ 3名
 - ⑥ その他(中難の会) 8名
4. 荻窪地域区民センターの開催する講座や講演に今回を含めこれまで何回参加されましたか?
 - ① 1回 8名
 - ② 2回 4名
 - ③ 3回以上 17名
5. 当センターの開催した荻窪寄席にこれまで何回参加されましたか?
 - ① 初めて 12名
 - ② 2回 8名
 - ③ 3回以上 10名
6. 今回の荻窪寄席を受けられていかがでしたか?
 - ① 満足した 29名
 - ② 普通 1名
 - ③ 物足りなかった
 - ④ 無回答
7. 満足した方の感想をお聞かせ下さい。
 - ・大いに笑った、笑うことは良いこと!
 - ・話の内容と字幕のリンクが見事
 - ・参加型の曲芸が良かった。相変わらず馬玉師匠の声が素晴らしい、聞きほれた
 - ・曲技が素晴らしい。二人とも素晴らしい。最高(7)
 - ・楽しかった。良かった。面白かった。(5)
 - ・熱演に感謝
 - ・生は違う
 - ・声が大きくよく聞こえた。が、後ろの方からは姿が見えなかった(難)
 - ・馬玉さんの語りがとても聞き心地が良くとても楽しめた。
和助さんの曲芸もハラハラで楽しかった
 - ・大山詣り、何度聞いても良かった
 - ・久しぶりに生の落語が聞けて楽しかった。和助さんの芸もすごかった
 - ・馬玉師匠の話芸をたっぷり楽しませて頂いた。演目も大ネタ! 太神楽もユーモアたっぷり、近くで見ることができて満足
 - ・生が一番、一緒に笑えるのがいい(難)
 - ・曲芸はとても見事で楽しかった。ハラハラドキドキ。刃物が出てきて笑えた(難)
 - ・熊谷さん、よかった
 - ・字幕がありわかりやすいし、近さも親しみを持って、楽しさが増す感じだった。和助さんの芸も工夫があってとても良かった
 - ・馬玉師匠の落語をこれからも聞こうと思う(難)
 - ・字幕が年々パワーアップしていますね(難)

8. 物足りなかった方はその理由をお聞かせ下さい。

- ・後ろの席で曲芸が見つらなかった

9. 荻窪寄席では字幕付きで実施していますがいかがでしたか？

その他、運営について気付いたことがあればお聞かせ下さい。

- ・良い試みだと思う
- ・スタッフが多すぎる
- ・お囃子の音をもう少し出してほしい
- ・とても良い試み。13年も続いているのですね、頑張ってください
- ・字幕をこれからもお願いします(難)
- ・字幕は見やすくよかった。文字も大きくて見やすかった(2)(難)
- ・素晴らしい
- ・毎回難聴者のために、さくらんぼに感謝(難)
- ・難聴なので字幕があり安心して楽しめた。前方の席を用意していただきありがたい(難)
- ・休憩時間の時、後方にいたPCのオペレーターのおしゃべりがすごい
- ・字幕が必要な方には良い機会
- ・ほとんど字幕で見ていた。助かった(難)
- ・言葉の漢字など確認できて良いなと思った
- ・皆がリアルタイムで楽しめることはうれしいこと。運営の皆さんの尽力に感謝
- ・ふと聞き漏らしても字幕に助けられて理解できた
- ・本舞台に集中して字幕は見なかったが、心遣いに感心した。
- ・字幕付きでも雰囲気十分に伝わるのが素晴らしい。休憩時間は短くてもいいのでは
- ・字幕を見ながら聞くのは初めてですがとっても良かった(難)
- ・毎年感謝です。中難の会以外の聞こえない人も招きたい(難)

10. コロナ対策について気付いたことはありますか？

- ・検温やマスク対策など良いが、会場内のおしゃべりが気になった
- ・中入りの時窓を開けたほうが良いと思う
- ・十分機能している

11. 今後どのような講座などイベントの開催を希望しますか？

- ・古典芸能「文楽」「狂言」「講談」「浪曲」など
- ・短い昔の映画
- ・街歩き、自然観察
- ・仕事をしているので週末のイベントを増やしてほしい
- ・音楽会、日本舞踊、バレエ

12. 事業企画部の反省点、次回への申し送り事項

- ・荻窪地域区民センターの特徴ある行事として継続していきたい。
- ・師匠お2人に来年度も実施したいとお伝えする。
- ・コロナ対策のため客席の間隔をあけるという対策を実施。師匠と参加者から理解を得られた。お客様とさくらんぼスタッフ合わせて50名程度の人数になったがは適切だったと判断する。

講座アンケート集計結果

講座名： 秋を楽しむ木の実工作教室

講師：山室京子

(令和4年11月27日 全1回) 参加者：16人(13組) 回答数：15

1. 性別 男性 2名 女性 13名
2. 年齢

10歳以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代
4名	名	2名	2名	1名	5名	1名
3. この講座を何でお知りになりましたか (該当するもの全て)

① 広報すぎなみ	② わたしのおぎくぼ	③ ポスター	④ ホームページ	⑤ その他
14名	0名	0名	0名	0名
4. 荻窪地域区民センターの開催する講座や講演に、今回を含めこれまで何回参加されましたか？

① 1回： 3名	② 2回： 3名	③ 3回以上： 9名	無回答： 名
----------	----------	------------	--------
5. 木の実工作教室に、これまで何回参加されましたか？

① 初めて： 8名	② 2回： 3名	③ 3回以上： 3名
-----------	----------	------------
6. この講座を受けられていかがでしたか？

① 満足した	15名
② 普通	0名
③ 物足りなかった	0名
7. 満足した方の感想をお聞かせ下さい
 - ・教えてくださる方が多くて親切、材料が豊富。(7)
 - ・楽しかった。(2)
 - ・初心者でも作成できた。
 - ・木の実の名前を教えてもらった。
 - ・珍しい木の実を知ることができた。(2)
 - ・子どもが楽しみにしていた。(2)
 - ・3回目の参加でリラックスして楽しく参加できた。
 - ・クリスマスが待ち遠しい。
 - ・リースを作れてよかった。
 - ・珍しい木の実や葉、香の良いヒイラギの花、初めての出会いでした。
8. 物足りなかった理由をお聞かせ下さい
9. 講座の運営について気付いたことがあればお聞かせ下さい

- ・材料費をもっととっても良いくらいに素材が充実していてびっくりしました。
- ・ハサミを持参すればよかったと思った。
- ・託児があるとよい。

10. コロナウイルス対策について気が付いたことがあれば記入ください。

- ・サーキュレーターがあるといい。
- ・マスクしているので良い。
- ・窓はもっと開けても良いのでは。

11. 今後どのような講座開催を希望しますか？

- ・この工作教室は親子で楽しみ作品も残るのでぜひ続けてほしい。
- ・この講座に参加したい。(2)
- ・工作や自然についての講義。
- ・季節を感じられるもの。
- ・ドライフラワー作り。
- ・手作り木工品
- ・正月用のしめ縄なども習いたい

12. 事業企画部内、引き継ぎ

- ・今回は親子の参加が3組(1組は事前キャンセル)。親子を優先して合格としたが、若い層の集客という意味でも良かったと思う。
1歳の子が一人、スタッフや母親がほぼ付き切りで対応していた。託児の希望はそれを見ていてのご意見と思う。
- ・16名はコロナ下では適切な人数だったと思う。
- ・杉並自然観察の会のサポート人数が沢山いて、材料も豊富に準備してくれているので、参加者の満足につながっていると思う。
- ・余った材料がたくさんあり、ボランティア室に保管。

講座アンケート

講座名：大人のワイン講座

講師：上田紀子

(令和4年11月24日、12月1日)

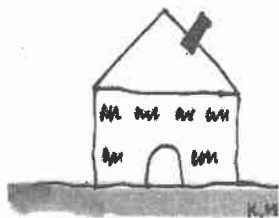
1. 性別： 男性 6名 女性 11名
2. 年齢： 30代1名 40代3名 50代1名 60代7名 70代5名
3. この講座を何でお知りになりましたか（該当するもの全て）？
 - ① 広報すぎなみ 13名
 - ② わたしのおぎくぼ 2名
 - ③ ホームページ1名
 - ⑤ その他：1名（講師本人から聞いて）
4. 荻窪地域区民センターの開催する講座や講演に今回を含めこれまで何回参加されましたか？
 - ① 初めて 9名
 - ② 2回目 3名
 - ③ 3回以上 5名
5. 今回この講座を受けられていかがでしたか？
 - ① 満足した 17名
 - ② 普通
 - ③ 物足りなかった
6. 満足した方の感想をお聞かせ下さい。
 - ・内容に対して参加費が安い
 - ・講師が魅力的（女性の感想です）
 - ・とても詳しく説明を受け、普段飲めないようなワインをたくさん飲めた
 - ・シャンパーニュについて、初めて聞くことが多かった
 - ・講師が素敵だった（女性の感想です）
 - ・安い参加費でワインをたくさん飲めた
 - ・付け合わせの料理が美味しかった
7. 物足りなかった方はその理由をお聞かせ下さい。
8. 講座の運営について気付いたことがあればお聞かせ下さい。
 - ・スムーズに運営されていて良かった

9. 今後どのような講座の開催を希望しますか？

- ・ チーズ講座
- ・ 料理教室
- ・ 日本酒講座
- ・ ビール講座
- ・ 上田先生の第2弾を希望します
- ・ 「大人のワイン講座」を続けてほしい
- ・ 上田先生の日本酒講座

10. 今回の講座におけるコロナ対策について、ご意見があればお聞かせください。

- ・ 入り口での消毒、マスクをしての受講だったので、問題ないと思います



荻窪の記憶 V

エピローグ・発展と変貌



地下鉄・荻窪駅の開業(1962)
(写真提供 地下鉄博物館)



完成時のタウンセブン(1981)
(撮影 松葉襄)



善福寺川と団地(1962頃)
(杉並区立郷土博物館蔵)

「荻窪の記憶」シリーズの締めくくりとして、
これまで触れてこなかった地域、
戦中・戦後という時間をカバーし、
新たな切り口から荻窪の歴史を振り返ります。

令和4年12月14日(水)～令和5年1月16日(月)

休館日 12月20日、26日、28~31日 1月1~4日、9日

会場：荻窪地域区民センター 1Fロビー

主催：荻窪地域区民センター協議会

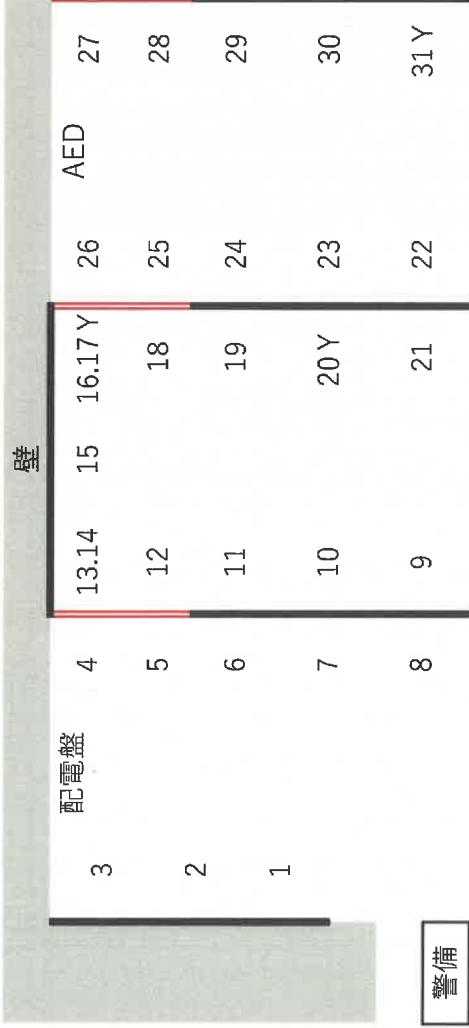
問合せ [Tel:03-3398-9127](tel:03-3398-9127)

荻窪の記憶 V ロビーでの展示パネル配列図

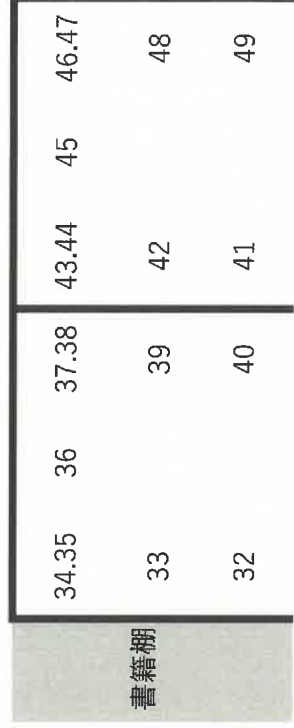
2022.12.12広報部

大パネル
小パネル

壁側のパネル配列



窓側のパネル配列



第1章 発展と展望

■ 交通と街の発展

- 1 はじめに
- 2 荻窪駅
- 3 荻窪駅
- 4 荻窪駅
- 5 バス路線
- 6 バス路線
- 7 バス路線
- 8 都電杉並線
- 9 都電杉並線
- 10 地下鉄荻窪線
- 11 天沼陸橋

■ 商店街の変遷

- 北口
- 12 原点は戦後のマーケット
- 13 中央線のアメ横・新興マーケット
- 14 中央線のアメ横・新興マーケット
- 15 タウンセブンの誕生
- 16 タウンセブンの誕生
- 17Y タウンセブンの誕生
- 南口
- 18 お屋敷町の商店街
- 19 南口で70年・兼田さんの回想
- 20Y 記憶地図 昭和30年代の南口商店街
- 21 写真で見える南口商店街の変遷

● バス通り沿い

- 22 バス通り商店街のにぎわい
- 23 バス通り商店街のにぎわい

■ 団地の誕生

- 24 田んぼから団地へ
- 25 憧れの団地ライフ
- 26 住み心地、そして…
- 27 そして、時は流れて

第2章 戦争と平和への願い

- 28 荻窪にもあった二・二六事件
- 29 軍人町と事件の波紋
- 30 荻窪も燃えた（戦災の記憶）
- 31Y 荻窪戦災の記憶

32 オーローラの碑と原水爆禁止署名運動

- 33 荻窪が運動の中心に

第3章 時を映す川と水路

- 34 荻窪と善福寺川
- 35 善福寺川の思い出
- 36 昭和・平成の善福寺川
- 37 千川用分水と界堰

第4章 ゆかりの人々

- 38 ゆかりの人々地図
- 39 荻窪ゆかりの人々
- 40 池田淑人・江田三郎
- 41 (江田三郎)・近藤富枝
- 42 鈴木信太郎・竹下彦一
- 43 (竹下彦一)・朝永振一郎
- 44 三谷十位子・宮田輝
- 45 (宮田輝)・棟方志功
- 46 山口泉

失われた荻窪の名建築

- 47 失われた荻窪の名建築①-菊野邸
- 48 失われた荻窪の名建築②

協力者・参考文献

- 49 (A3サイズ)

広報紙

わたしの おぎくぼ

発行:荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ <https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28~1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28~1/4

第29回



アットホームな「おまつり」を楽しもう! 本天沼集会所まつり



杉並産野菜販売・
花販売・綿菓子・
ポップコーン・ジュース

★開催日:令和5年2月26日(日)
★時間:午前10時~午後3時
★会場:本天沼区民集会所

骨強度・血管・肌年齢測定
(対象年齢20才以上)

苗木で募金
10時10分~



ひな壇飾り
撮影コーナー



催し物

- 大人の音楽クラブ ●ヒップホップダンス
- 母親クラブつくしの人形劇「きつねのあだ討ち」



※新型コロナウイルス対策のため、水分補給を除き館内は飲食禁止です。

主催:荻窪地域区民センター協議会

これらのスケジュール

1月

21日(土)~3月19日(日) パネル展示
「荻窪の記憶V」エピソード・発展と変遷
会場:郷土博物館分館西棟1F展示室

2月

26日(日) 二階市民ホールへ移り
ひなまつり、おぎくぼの歌の発表会
5日(日)「地域懇談会」
26日(日)「本天沼集会所まつり」
会場:本天沼区民集会所

3月

14日(土)「広報紙、わたしのおぎくぼ」
No.362 4月5日発行

31日(金)「総集版 荻窪の記憶」発行

4月以降

4月21日(金)「善福寺の四季・第4回春」
集会場所:善福寺公園上の池ポート乗場

4月25日(金)「定期総会」

5月27日(日)「季節の草花の寄せ植え(洋風)」

5月30日(金)「広報紙「わたしのおぎくぼ」」
No.363 6月7日発行

6月10日(日)「おぎくぼセンター祭」

※イベント・講座等は変更になることもあります。
※会場が朝記されていないものは全て、会場は荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先 ●事業企画部 ●地域交流部 ●広報部 ●総務部



幸 せ を 培 う 学 校
東京都立農芸高等学校



第8回

高校紹介の第8回は農芸高校の小堀卓二（こほり・たくじ）校長をお訪ねしました。

★「農業学習は幸せ学習です。」

こんな言葉で小堀校長の学校紹介は始まりました。
 都立農芸高校は明治33年（1900年）に創立、内田秀五郎氏により現在地に招致されました。今年創立122年を迎えた当高校には全日制課程に園芸科学科、食品科学科、緑地環境科の3科と定時制課程に農芸科があり、「誠実、勤勉、自主、協調」を綱領に掲げています。園芸科学科では、種蒔から収穫の苦勞、そしてそれを「美味しい」と言ってもらふ幸せ、食品科学科では素材から様々な工夫をして食品を完成させ、喜んでもらう幸せ、緑地環境科では協力し合っ
 て庭を造る達成感とそこを訪れる人に幸せを感じてもらふ喜び。生徒たちはそういう幸せを共有しつつ、社会人として必要な心構えを学んでいます。

★充実した施設と環境

それぞれの科の実習棟のほか、圃場、果樹園、温室など、校地の広さは東京ドーム1.6個分。そして都立高校では唯一の馬術部があります。厩舎には2頭の馬を飼育しており、自馬選手権関東大会では優勝を果たしました。温室ではバナナやコーヒーなどの熱帯の植物を育てています。また、草花、野菜などの生産品を販売する売店もあります。



★地域社会への貢献

園芸科学科ではJR阿佐ヶ谷駅前花壇、都庁の都民広場での植栽を行っています。食品科学科は有楽町の交通会館で「交通会館マルシェ」に出店しました。また「とうきょう総文2022」ではラベルデザインも行ったブルーベリージャムがおもてなし品として配布されました。緑地環境科では日比谷ガーデニングショーに出店したり、交通会館のテラスに庭を作ったりとそれぞれ地域社会と関わり、様々な貢献をしています。地域の方や企業の方との打ち合わせも多いので、話し方や接客などを実践的に学ぶことができます。



環境科学科
卒業庭園

*農・食・環境のスペシャリストの育成

緑地環境科の2年生全員が技能士「造園3級」を受験します。その他、初級バイオ技術者認定試験、食生活アドバイザー、農業技術検定など様々な資格取得に向けて学習します。日本学校農業クラブ全国大会の農業鑑定競技会では優秀賞を受賞しました。

*進路

大学、専門学校への進学率は約7割、就職が約3割です。それぞれが「自分の得意」を活かして進路を決めています。大学の馬術部からの推薦ももらった生徒もいます。昨年度、東京農大へは12名の受験者全員が合格しました。また、就職も3年間の蓄積を土台にして、職業を決めています。宮内庁の造園部に就職した生徒もいます。面接で自分の経験をきちんとPRできるように面接練習もしっかり行っています。



食品科学科
ソーセージ実習



園芸科学科
トマトの収穫

*校長先生の思い

「自然は自分の思い通りにならない」。人生の多感な時期に、命と自然を相手にする農業学習の中で成功や失敗を経験し、社会で自立する力と自分のための種を蒔いて、育て、収穫してほしい。1人1人が自分の人生の主役です。

東京都立農芸高等学校

住所：〒167-0035 杉並区今川 3-25-1

TEL:03-3399-0191 FAX:03-3399-3996

ホームページ：<http://www.nogei-h.metro.tokyo.jp>

【開催案内】武蔵野の自然探訪「善福寺の四季」第4回

武蔵野三大湧水池の一つである善福寺池の植物を中心にした自然を四季にわたって観察します。

≪ 第4回 春 ≫

新緑の木々と草花～コナラ、クヌギ、コブシ、ヤナギなどの若葉や春咲きの草本の観察

開催日時：4月21日(金)午後1時30分～4時頃 定員：15名 参加費：200円

申込締切：4月9日(日)

講師：元東京農工大教授・星野義延、東京環境工科専門学校講師・星野順子(右の写真)



※参加を希望される方はP4の「講座などのご案内」を読み、往復はがき、またはメールにて参加申込をお願いします。

「荻窪の記憶」
こぼればなし

第27回

春木屋の話

いまでは荻窪の春木家というと、青梅街道沿いの「中華そばの春木家」を思い浮かべる人が多いと思いますが、これは、同じ青梅街道沿いでも杉並公会堂の近くに店を構え、平成16年に閉店するまで、「中国料理のレストラン」として地域の人々に親しまれていた春木家の話です。話を聞かせてくださったのは、半世紀近くにわたって、亡くなったご主人とともに、女将として店を支えてきた今村富美枝さん(81)です。

筆者が富美枝さんとはじめて会ったのは、六、七年前のことですが、和服ときびきびとした物腰が下町の雰囲気や漂わせ、荻窪にもこんな女性がいるのかと、新鮮な印象を受けた記憶があります。その印象の通り、富美枝さんは築地の生まれ。19歳で、昭和2年創業の当時は蕎麦屋だった春木屋に嫁ぎました。下町から山の手に嫁いできたわけですが、すぐに新しい環境に溶け込めたのは、武蔵野湯という銭湯のお陰だったといえます。当時、荻窪でも商店には内風呂がなく、みんな銭湯を利用していたため、銭湯が町の社交場になっており、それが下町とそっくりだったからです。

その頃の春木屋は、蕎麦のほか、かつ丼もカレーもラーメンも出すという店で、千軒以上のお得意を抱え、注文の半分が出前でした。朝から、ひっきりなしに注文の電話がかかり、終電のお客が帰ったあとで銭湯に行くと、すでに掃除がはじまっているという、忙しい毎日を送ったといえます。

しかし、当時の日本は高度成長の真っ盛り、春木屋もご主人の発案で、本格的な中国料理を出すファミリー向けのレストランを目指し、大改革を行います。昭和40年のことでした。店を会社組織にし、職人を入れて粉から研究して看板の餃子を開発。従業員も最盛期には二桁になりました。



今村国治・富美枝ご夫妻（中国料理 春木家にて）

たが、その教育は女将の役割で、言葉遣いも、所作も、「私の真似をすればいいんだよ」という実践的なものでした。

本格的な中華が家で食べられれば、嬉しいものです。一緒に話を聞いたメンバーのなかにも、「子供の頃、春木屋さんの出前ではじめてカニ玉を食べた」という女性がいまいましたが、そんな思い出をもつ人が天沼や清水には少ないようです。当時、一番遠い出前先は清水三丁目にある沓掛小学校でしたが、その先生がはじめて来店し、ラーメンを食べるとこう言ったそうです。「いつものソバと違う」。それまで出前で伸びた麺しか知らなかったからでした。

清水に住んでいた井伏鱒二や将棋の大山名人もお得意さんで、井伏さんはいつも出前でしたが、餃子が好物だった大山名人は、よく容れ物をもって店まで買いにきたそうです。将棋の好きなご主人の頼みに応え、将棋を教えにきてくれた名人に、「先生、将棋に勝つ方法は？」と聞くと、答えは「強い相手とはやらないこと」というものでした。

「人が好き」「商売が好き」という富美枝さんは、半生を振り返って「第一線でしっかり働かせていただきました」といい、いまでも地域のために忙しく活動しています。

「荻窪の記憶」プロジェクト松井和男

イベント報告 マルシェ&ハロウィン子どもまつり

10月30日(日)、「マルシェ&ハロウィン子どもまつり」を当センターで開催しました(参加者は約500名)。1Fでは苗木で募金、杉並新鮮野菜の販売に加え、今年は罂粟子・ポップコーンの体験型の販売を行い大人気でした。2Fでは、ハロウィンの仮装撮影会場や、子育て支援(ほっとサロン)を設けました。特記事項として、荻窪高校から5名の高校生ボランティアと先生が参加し、協議会委員と一緒に会場の運営をしていただいたことがあげられます。



委員・先生もハロウィン仮装 ポップコーン売場

元氣いっぱい兄妹で撮影 ハロウィン撮影会場

イベント報告 荻窪音楽祭 地域ふれあいアフタヌーンコンサート



吉久亜紀トリオ 吉久亜紀(vl)
中野洋夫(gt)、三浦トオル(bs)

あきから 森下聖希子(vo)
吉久亜紀(vl)、富樫聖紀(cc)

11月5日(土)の午後、荻窪音楽祭の自主企画として、恒例となった当協議会の「地域ふれあいアフタヌーンコンサート」が開催され、会場の当センター1Fの談話コーナーは70名の聴衆でほぼ満員の盛況となりました。第一部は「吉久亜紀トリオ」、力強い演奏が印象に残りました。第二部は「あきから」、女性3人のアキさんによる歌曲主体の演奏でした。一部・二部とも親しみのある曲目が並び、大好評でした。企画・演奏全般を通じてご協力いただきました吉久亜紀さんに御礼申し上げます。

講座などのご案内 ※スケジュールが変更になった場合はホームページなどでお知らせします。

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
武蔵野の自然探訪 「善福寺池の四季」第4回	武蔵野三大湧水池の一つである善福寺池の植物を中心とした自然を四季にわたって観察します。第4回春～新緑の木々と草花(コナラ、クヌギ、コブシ、ヤナギなど)の若葉や春咲の草本の観察 講師：星野義延(東京農工大学教授) 星野順子(東京環境工科専門学校講師)	4月21日(金) 午後1時30分～16時00分 (集合場所：都立善福寺公園 上の池ボート乗場前)	15名	200円	4月9日(日)

【講座の申込方法】 往復はがきに加え、荻窪地域区民センター協議会ホームページ(<https://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/>)からも申込ができます。応募締切の数日後に結果をご連絡します。(往復はがきでの申込、ホームページでの申込とも応募者多数の場合は抽選です)

◆往復はがきの場合(1人1枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ、荻窪地域区民センター協議会(〒167-0051 荻窪2-34-20)宛 申込みください。

◆ホームページの場合(1人1件) 受講を希望する講座にアクセスし、フォーマットに沿って必要事項を入力し、申込みください。なお、ホームページの開催案内の掲載開始は、申込締切日の概ね1ヵ月前を予定しています。

開催報告
パネル展示「荻窪の記憶 V」
当センターロビー

総集版 荻窪の記憶発刊のご案内



仮原稿

- ◆第1章 大田黒公園周辺 100年の歴史
- ◆第2章 天沼 100年の歴史
- ◆第3章 南荻窪・宮前 100年の歴史
- ◆第4章 清水・桃井・今川の歴史
- ◆第5章 エピローグ・発展と展望
- ◆第6章 町名の由来と今
- ◆付録 「荻窪の記憶」写真館(検討中)

本書はこれまでに発刊した「荻窪の記憶」「新版荻窪の記憶」「荻窪の記憶IV」の内容に、これまで触れて来なかった地域、戦中・戦後という時間をカバーし、新たな切り口から荻窪の発展を振り返った「エピローグ・発展と展望」(現在パネル展示中)を加えた、「荻窪の記憶」シリーズの締めくくりとなる「総集版 荻窪の記憶」です。

発刊予定日：令和5年3月末頃を予定
発行：荻窪地域区民センター協議会
仕様：A5サイズ、180ページ(見込み)

※現在編集中です。詳細につきましては次号のわたしのおぎくぼNo.363 4月・5月号にて案内する予定です。

郷土博物館分館
問い合わせ：☎5347-9801

西棟1階展示室(分館区民参加型展示)

荻窪の記憶V
エピローグ・発展と変貌

「荻窪の記憶」シリーズの締めくくりとして、これまで触れてこなかった地域、戦中・戦後という時間をカバーし、新たな切り口から荻窪の発展を振り返ります。

【開催期間】令和5年1月21日(土)～3月19日(日)

【実施団体】荻窪地域区民センター協議会

- 場 所：杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼井天池公園内)
- 開館時間：午前9時～午後5時
- 休 館 日：毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し、翌日休館)
年末年始の休館日(12月28日～1月4日)
- 観 覧 料：無料

*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。 FAX番号:3398-9128

●連載「近隣の高等学校訪問」を終了します

本紙 P2 に連続で掲載してまいりました「近隣の高等学校訪問」は本号の第8回東京都立農芸高校をもって終了させていただきます。取材にご協力いただきました各校の校長先生、副校長先生に厚く御礼申し上げます。

次号からの連載は○○○……………がテーマで、第1回はゆう杉並を予定しています。ご期待ください。

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の
日程

12月21日(火) 午後1時～ 会場：第1・2集會室
1月31日(火) 午後1時～ 会場：第1・2集會室
※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。



●以下は参考となる21号（平成31年4月～令和3年3月）のレイアウトです。

表4

表1

表2

P1



P2

P3

P4

P5



P6

P7

P8

表3



●大日程(案)

1月10日⊗	第1回編集会議	2月7日⊗原稿締切
1月17日⊗	レイアウト決定	2月14日⊗入校
1月17日以降	区長執筆依頼	校正作業
	写真撮影も服装の関係で日時決める	3月7日⊗校了
	各部報告は各部での執筆が原則	3月31日⊗発行予定

●特記事項

- ・区長の挨拶文は早目に依頼？
- ・地交部の活動が増えたので、ページ割りを増やす必要あり？
- ・表4の地図を無くして、年表を表4に回し、各部のページ増を検討？

令和4年度 広報部門七館連絡会議 中間報告

資料12

日時：令和4年11月10日（木）午前10時～12時

場所：高円寺中央会議室 洋室1・2集会室

幹事：高円寺地域区民センター協議会広報部

出席者名簿

協議会名	役職	氏名	メモ
阿佐谷	前部長	桑田忠	
井草	部長	色部一哉	前回（荻窪開催）出席
	副部長	小林朱美	前回（荻窪開催）出席
荻窪	部長	横尾耕一	前回（荻窪開催）出席
		松崎茂一郎	前回（荻窪開催）出席
		西村淳一	前回（荻窪開催）出席
永福和泉	部長	高橋美和	前回（荻窪開催）出席
	副部長	佐向義範	前回（荻窪開催）出席
		井上優子	前回（荻窪開催）出席
高井戸	部長	角田恵子	前回（荻窪開催）出席
	副部長	熊谷啓子	
西荻	部長	秋田さかえ	前回（荻窪開催）出席
高円寺	部長	小関紫	司会
	委員	高田八重子	
		中山逸夫	
	事務局長	清水泰弘	冒頭挨拶
	事務局	宮川陽子	

注：当日の正式な議事録が未着の為、校正原稿に表紙を付けて役員会に報告します

七館会議報告用書

A：各館を一覧表化

	部員数	部会回数	広報原稿案	自宅作業	リモート会議	仕分け	広報紙発行状況	HP 担当
阿佐谷	5名	3回/月	各部担当	有			2月毎	1名
西荻	4名	2回/月	広報	有	無	大きく分けて各部へ	3月毎	各部で行う
井草	5名	2回/月	広報	有		部会前に部員のみ	2月毎	1名専従
荻窪	4名	回/月	広報	有		全員	2月毎	1名(全員できる)
永福和泉	5名	2回/月	各部担当	有	LINE	部員のみ	2月毎	
高井戸		1回/週	広報	有			2月毎	
高円寺	4名	1回/週	各部担当	有	無	部員のみ	2月毎	各部で行う

B：議題ごとに

1. 広報紙について

- ・次号の案を部長が作成し、パートに分けて担当を決めそれぞれが記事を作成。それを合体させる。(荻窪)
- ・入稿の段階でレイアウト含め、ほぼ完成している。(荻窪)
 - 記事の締切を厳格にしているため、大きな変更はなし。発行日前月の10日頃には全部できている。
- ・各部から原稿を出してもらい、広報部が編集する。(井草・高円寺)
- ・各号を広報部員が持ち回りで担当する。(井草)
- ・講座やイベントの写真撮影は広報部で担当している。(荻窪・永福和泉・西荻)
- ・講座やイベントの写真とともに記事も作成し、HPに載せる。(荻窪)
 - 急ぎよ記事を埋めるための活用も可能
- ・レイアウト(配置、イラストなど)は印刷会社にまかせている。(井草・高円寺)
- ・入稿時、記事がそろわない場合は、レイアウト、文字数等を決めておき、後日そこにはめ込む形で印刷業者に送る

2. HPについて

- ・広報部員の中の1名が専従(井草)
 - 2年かけて引継ぐのでHPに関して問題がない
- ・担当者1名が行うが、広報部全員がHP作業をこなせる。(荻窪)
- ・始めは各部が行っていた。現在は広報部が一括で入力しているが、大変なので担当者を増員予定(阿佐谷)

- ・HPで講座申し込み受付を始めてから、閲覧数が増加（荻窪）
- ・HPの効果は大きい。協議会活動広報にもかなり有効と思われる。
（人が足りない。できる人が退任するとストップする）
- ・HPでの申し込みとはがきの申し込みについて
子供向けイベントや講座→HPがほとんど
高齢者向けの講座→はがきが多くなる

3. その他協議会活動について

- ・広報部は自宅での作業が多いため、活動費をどうしているか。
出すところ：荻窪、永福和泉
- ・仕分けのやり方（①広報部員だけ、②委員全員、③広報部で大きく分けて各部で分担）
- ・人がいないため、4年の任期を終えても引き続き1年ないし2年続けざるを得ない。
- ・SNSは、始めても熟知する人が退任すると中断してしまうので、活用していない。
- ・委員会をZOOMでできるようになるとよい。（永福和泉は実施中）
- ・広報部として気を付けたいこと
→著作権の侵害、個人情報の扱いなど、外部に出す前にチェックする
→広報紙やHPに載せる写真は背後から撮る（顔を出さないため）、または顔の部分をぼかす
→なみすけのキャラクター使用は、区の指定を厳密に守るように注意
（うっかり手を加えて利用し印刷してしまうと発行できなくなる）
- ・活動や広報紙について地域からのフィードバックがあるかどうか
→永福和泉の活動がヒントに？
- ・コロナ禍で、講座・イベントが中止になったことによる影響
→記事が無く、休刊したことがある
→写真を多用して紙面を構成
→急遽取材して記事を入れた。講演会等の登壇者（出演者）に記事を書いてもらった
- ・引継ぎのために委員の任期を延長。経験者に再び委員になってもらう（規約により最長2年）

4. 問題点

- ・人がいない・足りない・募集しても集まらない
→引き受ける人も他に仕事や地域活動（PTA）かかえて負担が大きい
→HPやSNSを活用するのが難しい（スキルのある人が退任するとストップ）
→スキルのある人が次の人に教えて引き継ぐ余裕がない
- ・広報部は自宅作業が多い→活動費の問題
☆メリット・拘束時間が少ない・自分の自由な時間に仕事ができる
- ・印刷業者（規定で毎年業者入札選定する）→レイアウトなどかなりの部分を任せているので、業者が替わると作業に支障が多い（仕様書の内容を整えて業者に見積りを依頼する必要あり）

5. 理想

- ・委員が楽しく協力し合って無理のない活動ができること
- ・協議会の活動や存在をもっと地域の人たちに知ってもらうこと

改修期間中の協議会事業

1 西荻地域区民センター協議会(改修期間R元.6~R2.11)

		30年度		R元年度		R2年度		R3年度		
委員数 (年度末)		定数	実人数	定数	実人数	定数	実人数	定数	実人数	
		38人	29人	38人	19人	38人	18人	38人	20人	
運営会議	役員会	定例	12回	11回	10回	12回				
		臨時	0回	0回	0回	0回				
		計	12回	11回	10回	12回				
	委員会	定例	12回	11回	10回	12回				
		臨時	0回	0回	0回	0回				
		計	12回	11回	10回	12回				
	部会	160回	132回	66回	103回					
計	184回	154回	86回	127回						
事業内容	講座・教室等		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
			29回	701人	4回	152人	2回	51人	5回	121人
	協働事業		9回	1,446人	10回	2,048人	3回	177人	4回	246人
	集団事業(まつり等)		8回	5,387人	1回	952人	0回	0人	1回	35人
	地域懇談会		2回	68人	2回	59人	1回	43人	1回	33人
	懇談会(上記除く)						1回	29人		
	計		48回	7,602人	17回	3,211人	7回	300人	11回	435人
	センター報発行		発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	発行回数	発行部数
		6回	57,000	4回	38,000	4回	38,000	4回	9,500部	

○元年度 センターまつりは、改修のため中止。

○2年度 センターまつりは、コロナのため中止。

10の協働事業をコロナのため中止。

○改修のため、委員数は、少なかったとのことある

2 高円寺地域区民センター協議会(改修期間R3~R5.4運用開始予定)

委員数(年度末)			R元年度		R2年度		R3年度	
			定数	実人数	定数	実人数	定数	実人数
			32人	25人	32人	24人	32人	24人
運営会議	役員会	定例	11回		12回		11回	
		臨時	0回		0回		0回	
		計	11回		12回		11回	
	委員会	定例	11回		8回		7回	
		臨時	0回		1回		0回	
		計	11回		9回		7回	
	部会		152回		179回		141回	
計		174回		200回		159回		
事業内容	講座・教室等		回数	参加人数	単位・回	参加人数	単位・回	参加人数
			20回	478人	11回	190人	13回	146人
	協働事業		10回	4974人	2回	111人	3回	73人
	集団事業(まつり等)		5回	4140人	3回	1300人	2回	414人
	地域懇談会		1回	91人	1回	45人	1回	0人
	懇談会(上記除く)						1回	0人
	計		36回	9,683人	17回	1,646人	18回	341人
セシオン発行		発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	
		6回	60,000	6回	10,000部/回	5回	9,700部/回	

- 3年度 総会を区役所6階第4会議室で開催
 蚕糸の森まつり2022 中止
 協働事業 わいわい和田まつり 中止
 子どもフェア 中止
 集団事業 セシオン杉並まつり 中止 (4年度中止)
 きたきた高円寺まつり 中止
 阿波踊り体験講座 中止

- 4年度 総会を阿佐谷地域区民センターで開催
 セシオン杉並まつり 中止

3 荻窪地域区民センター協議会

委員数 (年度末)			30年度		R元年度		R2年度		R3年度	
			定数	実人数	定数	実人数	定数	実人数	定数	実人数
			38人	30人	38人	24人	38人	21人	38人	23人
運営会議	役員会	定例	12回		12回		12回		12回	
		臨時	0回		0回		0回		0回	
		計	12回		12回		10回		12回	
	委員会	定例	12回		11回		11回		12回	
		臨時	0回		0回		0回		0回	
		計	12回		11回		11回		12回	
	部会		250回		180回		152回		188回	
計		274回		203回		175回		212回		
事業内容			回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
	講座・教室等		31回	1,044人	35回	1,129人	10回	458人	12回	555人
	協働事業		20回	3,835人	17回	1,944人	7回	402人	13回	547人
	集団事業 (まつり等)		4回	3,250人	3回	3,120人	1回	1,320人	1回	700人
	地域懇談会		1回	40人	2回	89人	1回	55人	0回	0人
	懇談会 (上記除く)						1回	20人	2回	40人
	計		56回	8,169人	57回	6,282人	20回	2,255人	28回	1,842人
	セウ-報発行		発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	発行回数	発行部数	発行回数	発行部数
		6回	60,000	6回	60,000	6回	60,000	6回	11,000部/回	

コロナによる中止・縮小事業

○令和2年度

- ・センター祭り 2日間⇒1日
- ・本天沼集会所まつり 中止
- ・地域ふれあいマチネコンサート 中止
- ・アート展 中止
- ・さいえんす縁日 中止

○令和3年度

- ・本天沼集会所まつり 中止
- ・アート展 中止
- ・さいえんす縁日 中止

1. 総務部

区分	使用会議室	代替会議室 (A案)	代替会議室 (B案)	代替会議室 (C案)	人数		備考
					人数	回数	
総会	1・2・4・5	コミユから本大附全館	西荻センター	△荻窪会議室	60	2	準備日＋本番
会長会(6月、荻窪担当)	1・2・3	荻窪会議室	コミユから本大附2階		20	2	準備日＋本番
委員会	1・2	荻窪会議室	コミユから本大附2階		21	12	全委員(平均欠席率2名)
部会	1・2	荻窪会議室	コミユから本大附4階		19	48	監事2名除く全委員(平均欠席率2名)
七館連絡会	1・2	荻窪会議室	コミユから本大附2階		16	1	
館内委員研修	1・2	荻窪会議室	コミユから本大附全館		20	3	
地域懇談会 R5.2.5実施予定	1・2・4・5	コミユから本大附全館	西荻センター		50	1	
地域交流会(こみゆに亭)	1・2	荻窪会議室	コミユから本大附2階		30	2	
							44,801

2. 地域交流部

区分	使用会議室	代替会議室 (A案)	代替会議室 (B案)	代替会議室 (C案)	人数		備考
					人数	回数	
センター祭(6月5日実施)	1階・2階	コミユから本大附全館			900	2	全員で準備・祭・片付
センター祭	1				10	3	実行委員会
センター祭	1				10	9	部員他準備
アート展(9月24日・25日実施)	1階・2階	コミユから本大附全館	△荻窪会議室		300	3	全員で準備・祭・片付
アート展	1・2				12	3	実行委員会
アート展	1				10	6	部員他準備
マルンエ&ハロウイーン(10月30日実施)	1階・2階	コミユから本大附全館			500	2	全員で準備・祭・片付
マルンエ&ハロウイーン	1				10	3	実行委員会
マルンエ&ハロウイーン	1				10	9	部員他準備
音楽祭(11月5日実施)	談話コーナー	コミユから本大附全館			70	2	実行委員で準備・祭・片付
音楽祭	1・2				8	2	実行委員会
音楽祭	1・2				6	3	部員他準備
松漢中「遊び市」(11月5日実施)	松漢中						缶パッチづくり出店
本天沼集会所祭り(R5.2.26予定)	天沼全館	コミユから本大附全館			200	2	全員で準備・祭・片付
本天沼集会所祭り	1・2				10	3	実行委員会
本天沼集会所祭り	1				10	6	部員他準備
						58	

3. 事業企画部

区分	使用会議室	代替会議室 (A案)	代替会議室 (B案)	代替会議室 (C案)	人数		備考
					人数	回数	
1 野外講座「武蔵野の面影を探して」	屋外				15	1	5月14日実施
2 野外講座「武蔵野の自然探訪」第1回	屋外				15	1	6月16日実施
3 野外講座「武蔵野の自然探訪」第2回	屋外				15	1	10月6日実施
4 野外講座「武蔵野の自然探訪」第3回	屋外				15	1	1月12日実施予定
5 最高短編小説を詠む	1・2	荻窪会議室	コミユから本大附2階		20	4	5月18日・25日・6月8日・15日
6 季節の草花の寄せ植え	1・2	荻窪会議室	コミユから本大附2階		12	1	5月28日実施
7 リズムアンドストレッチ教室	小体育室	不可(ウエルフェアーム消費センター行政使用?)			20	4	6月8日・15日・22日・29日